

釧路文学館だより 5月号

2026年5月1日発行 第84号

企画展

生誕130周年記念「父と子、ふたりの中戸川」展

2026年4月25日(土)～7月26日(日)

本年生誕130周年となる小説家・中戸川吉二と、その父であり、現在の北大通から末広町などの西幣舞にかけてを「中戸川農場」として開墾した中戸川平太郎。釧路を開拓し、そして書き綴った二人の生涯を紹介します。

企画展のみどころ

文字の中の 釧路にふれる

中戸川吉二は、釧路での思い出を作品や随筆に残しています。また、中戸川平太郎は釧路に関連している小説にも開拓者として登場しています。こんなところにも登場していたの？という発見があるはずです。

明治時代の 釧路にふれる

中戸川平太郎は西幣舞にある「中戸川農場」のほかに、大楽毛にて「中戸川牧場」も経営していました。当時の馬産王国・釧路を紹介するとともに、明治時代の釧路の写真や、馬にまつわる展示をしています。

5月のイベント予定

文章講座「想いを文字で表すには」

5月17日(日) 13:00～14:00 【場所】6階文学会議室【定員】10名【申込】必要

講師：山本悦也氏(釧路文学団体協議会副会長)

コラムや文章の書き方の基本について、釧路文学団体協議会副会長の山本悦也氏が解説します。

申込フォーム



くず ひろき マンスリー朗読会「久栖博季 - 『貝殻航路』を読む -」

5月30日(土) 13:00～14:00 【場所】7階多目的ホール【定員】80名【申込】不要

朗読：新名まり代氏、猪俣美知子氏、石井裕子氏、加納みどり氏(リーディングサービスコスモス)
道東出身作家である「久栖博季(くずひろき)」さんが第174回芥川賞候補に選ばれたことを記念して、今回は候補作となった『貝殻航路』を、リーディングサービスコスモスの方々が朗読します。

6階階段横展示中「道東が生んだマドンナたち」

道東にゆかりのある女性作家を、小説・絵本問わず紹介しています。